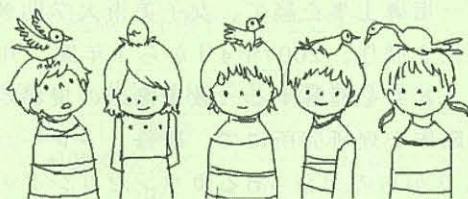


第36回

全国学童保育指導員学校

東北会場 in 宮城



イラスト提供ふわねり

と き : 2011年10月2日(日)

と ころ : 宮城学院女子大学

今年3月に起きた東日本大震災被災地では、学童保育に保護者が迎えに来るまで指導員によって子どもたちが守られ、あらためて学童保育の存在と学童保育が生活の場であることの意味が注目されることになりました。

学童保育は、働きながら子育てするうえでなくてはならない施設です。

いま、学童保育数も入所児童数も増えています。学童保育で働く指導員も増えています。どのように子どもたちの生活をつくるのか、多くの指導員が子どもたちの願いと状況をふまえて、いきいきとした生活づくりに毎日努力しています。

子どもたちが安全でいきいきとした生活が送れるよう、学童保育と指導員の仕事・役割について、学び交流しましょう。学童保育の拡充・内容向上がすすむように、保護者や行政の方も一緒に学びませんか。ぜひお誘い合わせてご参加くださるようお願いいたします。

主催 全国学童保育連絡協議会

岩手県学童保育連絡協議会・山形県学童保育連絡協議会・仙台市学童保育連絡協議会
福島市学童クラブ連絡協議会・いわき市学童保育連絡協議会

後援

宮城県、仙台市、(以下予定)青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県 ほか